

選挙公報



小林のぶゆき
48歳 無所属

停滞か。前進か。

- すぐやる **5大** 事業
1. 水道代を値下げします!
 2. 無料バスを走らせます!
 3. 役場にワンストップ窓口をつくります!
 4. 中学校給食を早期導入します!
 5. 地域振興券で町内経済を回します!

真鶴はもったいない! と思わず、このまちを良くする打ち手はあるのに、不毛な対立を続けていたり、まちの停滞はこのままです。もう終わりにしませんか。一緒に前へ進みましょう。



小林のぶゆきの略歴

昭和50年、福島県鏡石町生まれ。48歳。筑波大学卒。地域情報誌と環境コンサルに携わり、地域の疲弊と国の将来を憂い、政治を志す。衆議院議員公設秘書を経て、2011年より横須賀市議を4期13年務める。

2022年に早稲田大学大学院を修了。公共経営修士。片山善博・元総務大臣の下、広域連携を研究し、真鶴の課題に気づく。副町長公募に応募するも中止となり、リコール成立を受け、立候補を決定し、真鶴町に転入。



世古口 ゆうじ
五十六歳

断じてウソ無し 公約実行!

ガラス張りの見える政治

町民が監視できる行政に!

収支の詳細開示がムダ省きの鍵

世古口でございます。

選挙の時は聞こえの良い言葉が並びますが、お金がなければ現実には何も出来ず、絵にかいた餅にすぎません。ムダを省かねば財政はよくなりません。まずは自分の給料・ボーナス大幅カット(8割減)から始めます。真鶴は今、夕張市を立て直した鈴木さん(現道知事)のような献身的な人が必要です。真鶴に来て7年、この町を深く愛しました。全力で公約をやり遂げます。

非公開

まなづるAIを導入し 公正な政治を行います

人にはできない、しがらみのない議会を



真鶴町における政策、課題、苦情、未来!
何でも質問や相談をしてください
チャットでお答えします まなづるAI

選挙では、政策や経験、人間性、または利害関係などを考慮して投票しますが、私個人ではなくAIを選んで欲しいと考え、本名と顔写真を非公開にさせていただきます

AIメイヤー
AI党



細田まさひろ

○取り戻す

役場の機能回復に向けて、まずは職員同士の対話を通じて情報を共有する時間を作ります。また、退職した経験豊かな人材を呼び戻し、業務を若い世代へ引き継ぎます。これは、私だから出来ることです。

○つながる係

町民の方々の声を聞く窓口を明確にし、風通しの良い役場にします。町民との距離を近くして、住みやすい町を一緒に作っていきましょう。

○伝統と創出

漁業では海産物の磯焼け対策、鶴宝ブランドの確立。石材業では本小松石の新製品の開発や海外を含めた販路の拡大を推進します。

○真鶴の未来

未来の形は町民の方々が活気を持ち、人、町、自然が一体となり、魅力あふれる町づくりを行政がしっかりとバックアップしていきます。

大切なことを正しくやり遂げます



竹下 えり

子どもたちの未来のために

・真鶴町に選挙は必要です。名簿閲覧はやめましょう。
・ふるさと納税による税収アップを目指します。本小松石に思い思いの名前や言葉を刻み公園に。真鶴の自然をいかし、ネイチャーガイドによるツアー。自然環境維持、雇用促進にもつながります。

・ゾーン30の導入。真鶴の子どもたちの安全確保。さらにシニアカーの安全も守ります。

・子育て世代や子どもたちの意見を積極的に聞き、教育や仕事への不安の解消に努めます。

・水道やゴミ収集などインフラを利用する非居住者に費用を負担していただくため別荘税導入を検討します。

・自治体インターネット シップ 行政の人手不足を補います。未来の移住も考えてもらえるかもしれません。

・町民の安全で安心な生活のため名簿流出問題に真剣に取り組んでいます。調査内容はホームページで日々更新中です。

・真鶴町の町政への信頼回復に努めます。行政学者のアドバイスをふまえて解決を図っていきます。

小児科医として働き、3年前に真鶴に引っ越しました。現状の真鶴のイメージを改善し、もっともっとすてきな町にしませんか。住民が町政と協働し、柔軟なアイデアを出し合い、検討し、実現化する町長を目指します。

*詳細はホームページをご覧ください。



<https://takeshita-eri.net/>

投票日

11月12日 (日曜日)

投票時間

午前7時から午後8時まで